

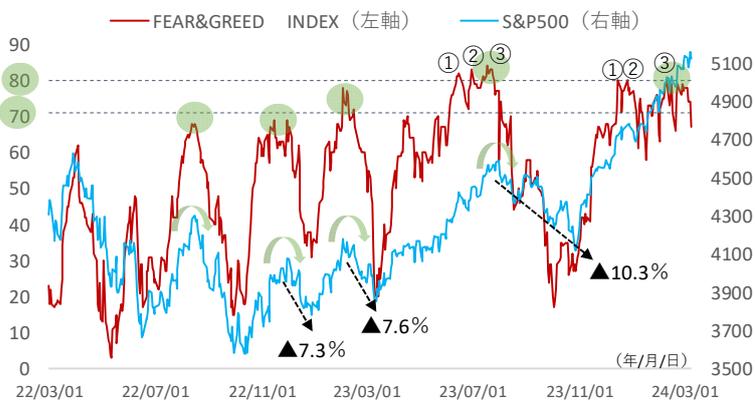


日米株3月は調整の月

◆日米株 3月は調整と見る

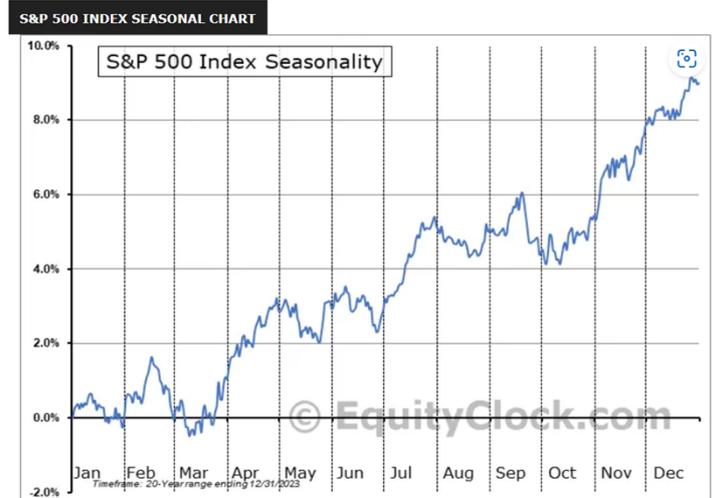
- 3/11の日本経済新聞朝刊に筆者の今週の日本株予想として急ピッチな上昇で高値警戒「一時的な調整を挟むのはむしろ健全」が掲載された
- 調整の理由は以下の3点
 - ①大台4万円台乗せの達成感、
 - ②予想PERが17倍とやや割高
 - ③円高方向への揺り戻し
 - ④海外投資家が3月に日本株を売り越す季節性
- 3/11の日経平均は前日比▲2.19%下げており、調整局面入りとの見立てを追認
- この調整は米国株に連れた動きだ。FEAR&GREED指数は「陽の極：80に到達」しており調整局面入りが見唆されている（図表①）
- FEAR&GREEDは夏場に3回80にタッチし、3回目に株価が調整した、今局目も3回目だ。調整幅は▲7%程度が一つの目安
- ▲7%は22年10月以降の上昇相場でFEAR&GREEDが「陽の極」70～80を付けた後の株価調整幅平均▲7%に起因（図表①）
- 2/14の「松波塾 No.20 米株 再上昇の条件と金利の行方」で株価の季節性を踏まえると「2月急上昇は一服、3月調整を経て仕切り直し、夏場に向け再上昇との示唆」とした
- この見立ての背景の一つが図表②のS&P500の季節性だ。今局面でもこれを踏襲中との見立ては不変。つまり3月の米日株は調整へ

<図表① FEAR&GREED指数「陽の極：80」
80に3度目のタッチは調整サイン？>



出所：CNNマネー

<② S&P500の季節性
(過去20年間の日次平均) 3月は調整>



出所：Equity Clock.com

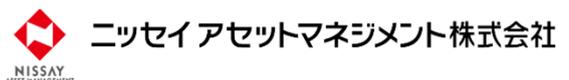
※本稿に記載された意見、推定、見通しは、本稿の日付時点における執筆者の分析・判断に基づいています。それらは必ずしもニッセイアセットマネジメントの意見を反映しているとは限らず、また予告なしに変更される場合があります。



【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



商号等： ニッセイアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者
関東財務局長（金商）第369号

加入協会： 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>